

全社大再発防止対策 行動計画

実施項目	主なアクションプラン	実施部署・対象箇所等	19年度														
			18年度 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
意識面（しない風土）の対策																	
1	「企業倫理遵守に関する行動基準」の規定内容の充実 改定原案を作成し、イントラネットで周知 第一線職場の声をはじめ、社内から広く意見を募集し、修正した原案を企業倫理委員会で審議 新たな行動基準を制定・公布し、社内説明会を開催（宣誓書署名の周知とあわせて実施） 各職場において、新たな行動基準の理解活動を実施 行動基準の冊子を作成し、配布 行動基準を活用した研修の実施	（実施）総務部 （対象）役員・全社員	原案周知 3/末 原案作成	企業倫理委員会 4/24 意見募集	5/下 行動基準の制定・公布、社内説明会の実施	各職場における理解活動	冊子の作成	8/下 冊子の配布	行動基準を活用した研修の実施								
2	【仕事の基本の徹底に関するeラーニングの実施】 -1 仕事の基本の徹底に関するeラーニングの作成 -2 全社員がeラーニングを受講 -3 各職場でのグループ討議を実施	（実施）総務部 （対象）全社員	eラーニング作成							8/下 配信	eラーニング受講	グループ討議					
	【技術者倫理に関するeラーニングの実施】 -1 設備部門対象としたeラーニングの作成 -2 設備部門の全社員がeラーニングを受講 -3 各職場でのグループ討議を実施	（実施）総務部 （対象）設備部門	eラーニング作成							8/下 配信	eラーニング受講	グループ討議					
	【社内の技術技能認定制度における技術者倫理研修の導入】 -1 現行認定制度のカリキュラム確認 -2 具体的展開方法の検討（設備部門との協議） -3 研修資料作成 -4 技術技能認定者を対象に研修を実施	（実施）総務部 総合研修センター （対象）設備部門	現行認定制度のカリキュラム確認	5/10 具体的展開方法の検討（設備部門との協議）				研修資料作成	技術技能認定者を対象に研修を実施								
	【管理職に対する研修】 -1 管理職に対する研修を必修化し、各企業倫理担当へ実施を依頼 -2 役割に応じて求められるケース・メソッド等の研修を実施	（実施）総務部 （対象）管理職	3/23 実施依頼	各職場における管理職への研修							10/中 上期分の実績報告						
	【企業倫理意識向上に資する効果的な研修ツールの開発】 -1 本店設備部門による不適切行為を題材にした事例集の作成 -2 店所による不適切行為を題材にした事例集の作成 -3 事例集について関係箇所との調整後、イントラに掲載 -4 各職場において事例集を活用した研修を実施	（実施）総務部 （対象）全社員	作成依頼 4/2	本店設備部門による事例集作成		5/下 イントラ掲載	6/中 イントラ掲載		事例集を活用した研修の実施								
3	企業倫理遵守に関する宣誓書への署名 署名の具体的な実施方法を策定し、企業倫理委員会で審議 宣誓書の署名について全社員に周知し、社内説明会を開催（行動基準の周知とあわせて実施） 各職場において、新たな行動基準の理解活動を実施 行動基準を十分理解した上で、役員・社員一人ひとりが宣誓書に署名 署名の状況を、データベースに登録	（実施）総務部 （対象）役員・全社員	4/24 企業倫理委員会 具体的実施方法の検討	5/下 行動基準の制定・公布、社内説明会の実施	各職場における行動基準の理解活動		6/上 宣誓書配布	各職場における宣誓書署名・提出		署名状況のデータベース登録							
4	部門間、事業所間の人材交流の推進 異動方針を周知し、各部門との調整後、異動を実施 人材交流実施後のチェック&フォローの実施	（実施）労務人事部 （対象）工務部門 火力部門 原子力部門等	異動方針周知	関係各部との調整		7/1 異動実施	必要に応じて適宜実施					チェック&フォロー					

実施項目	主なアクションプラン	実施部署・対象箇所等	18年度	19年度														
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
3 設備のトラブルや不具合を管理する仕組みの充実	【水力部門における不具合管理の仕組みの充実】 -1 既存の不具合管理の仕組みを活用し、不適合事例を水平展開する仕組みを構築 -2 システムへの不適合事例掲載、全店周知し、不具合管理を実施 -3 運用状況を確認し、随時、課題事項をフォロー	(実施)工務部 (対象)水力部門		不適合事例を水平展開する仕組みの構築 システムへの不適合事例掲載、全店周知				運用状況の確認									不具合管理 課題事項のフォロー	
	【火力部門における不具合管理の仕組みの充実】 -1 既存のシステムを活用し、不具合防止を徹底 -2 さらなる情報共有を図るため、既存システムを再構築 -3 新システムを活用した不具合管理を実施するとともに、随時、課題事項をフォロー	(実施)火力部 (対象)火力部門			基本方針策定				既存システム改修		運用開始							新システムを活用した不具合管理 課題事項のフォロー
	【原子力施設情報公開ライブラリ(ニューシア)への登録拡大】 -1 ニューシアへの入力基準を策定し、関係者へ周知 -2 新基準による入力を開始	(実施)原子力部門 (対象)原子力部門			入力基準の策定(電事連大で実施)				関係者への周知 新基準による入力開始(全電力で実施)									
4 業務プレッシャー等から第一線職場が抱える悩みを軽減するためのサポートの強化	【第一線職場が抱える悩みを軽減するサポートの強化】 -1 本店管理職が第一線職場を訪問しての意見交換 -2 技術的課題や法令等の解釈についてサポート体制を強化	(実施)工務部 (対象)水力部門						社内専門家等を活用するサポート体制の構築 全店周知										店所巡回キャンペーン 課題事項のフォロー
	【企業倫理相談窓口の全社員へのさらなる周知・徹底】 -1 イン트라ネットを利用した周知・徹底 -2 宣誓書署名にあわせた周知・徹底 -3 社報による周知・徹底 -4 eラーニングによる周知・徹底 -5 各職場の企業倫理担当への相談体制を充実	(実施)総務部 (対象)全社員							具体的サポート体制の検討									
5 第一線職場支援のための法務・コンプライアンス機能の強化	本店に「法務室」を設置 法律相談受付ラインの整備 法務室が全事業所に赴く「出前法律相談」の実施 法律関係手引書の充実 法務担当者の人材交流の拡大(19年度以降、順次実施)	(実施)総務部 (対象)全社、総務部						体制の決定										7/1 「法務室」設置 法律相談受付ライン(HP/ライ)の新設 新法務体制 出前法律相談の実施 法律相談事案の水平展開(法律関係手引書の充実等)
6 原子力部門の業務運営の見直し	「原子力品質・安全部」、「原子力設備管理部」を新たに設置し、「原子力技術・品質安全部」を廃止	(実施)原子力部門 (対象)原子力部門																改編実施 改編準備 4/1

実施項目	主なアクションプラン	実施部署・ 対象箇所等	18年度													19年度		
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月	4月	5月
再発防止対策の実施状況の確認と対策の見直し・改善																		
再発防止対策の実施状況の確認、効果の検証、見直しの実施	再発防止対策の実施状況について、本店各部が自部門の検証を実施 監査結果について、評価の具体的な実施方法の検討を踏まえ、再発防止対策の効果の検証も含めて、再発防止策検討部に報告 検証結果を踏まえ再発防止対策の継続的な見直しを実施	(実施) 各部門 品質・安全監査部 (対象) 全社 (原子力部門除く)		評価の具体的な実施方法検討・立案											本店各部の検証		3/下	
		(実施) 原子力部門 (対象) 原子力部門		原子力検討会の下に「再発防止対策フォローアップ会議」を新たに設け、再発防止対策の進捗状況の確認、実効性の評価を定期的(四半期毎)に実施し検証、必要に応じ再発防止対策を見直し											実施状況の確認		報告	
		(実施) 原子力品質監査部 (対象) 原子力部門		評価の具体的な実施方法検討・立案											上期自己評価			
				原子力安全・品質保証会議にて選定											管理者レビュー (以降、半期毎に定期実施)			
			4/13 テーマ設定	監査計画作成											監査の実施			
				常務会へ報告											12/21 原子力安全・品質保証会議へ報告		3/下 報告	